



(左)2010.6.12 富野小学校フォトスケッチ

来年3月末で閉校を迎える富野小学校、軽舞小学校の最後の運動会が6月12日(土)、27日(日)それぞれのグラウンドで盛大に行われました。関係者の願いが通じたのか両日とも晴天に恵まれた絶好の運動会日和。競技種目は徒競争や玉入れ、綱引きなどが行われ、一番の見せ場である紅白対抗リレーではグラウンド半周の差で最終走者の対決。ゴール手前で

運動会

ラスト

わずか数十センチまで追い上げる一幕もあり、白熱した競技の展開に観客席を大いに沸かせていました。古くから両小学校の運動会は、児童、先生方ももちろんPTAや地域住民と合同で取り組む伝統で、地域の交流の場としての役割も果たしてきました。それだけに競技が進行していくにつれ、関係者それぞれが感慨深い表情を浮かべていました。

2010.6.27 軽舞小学校フォトスケッチ





「楽しかった運動会」

歳重 ともみさん
(平成4年卒業)

私が一番思い出に残っている運動会の競技は、「ツールドとみの」ですね。小さい子ども用の自転車で走る競技で、小学生だから走りやすいと思われがちですが、ハンドルに足が当たってよく転ぶ子もいました。私は下に兄弟がいたので、自転車を借りて練習をしていたので得意競技のひとつでしたね。そして応援合戦です。応援歌があって、当時流行っていた曲を選んで替え歌を作るんですが、歌詞を考えるのに苦労しました。一番印象に残ってる曲は「水戸黄門」。歌詞はちょっと思い出せませんね(笑)



「運動会の思い出」

江川 允典さん
(平成4年卒業)

富野小学校のすぐ近くに住んでいる両親から「今年で最後の運動会だから見にいってきたら！」と言われ、なんとなく家族で足を運んでみました。都合があり、ほんの少しの時間しか滞在することができませんでしたが、自分が小学生の頃を思い出して懐かしくなりました。運動の苦手な私は、徒競走で1位にはなれなかったのですが、たくさんの応援を受けながら一生懸命走ったこと、綱引きで力いっぱい綱を引いたことは、今でも思い出されます。富小の運動会は、夏の思い出のひとつです。

忘れられない思い出の運動会



それぞれ万感の思いを胸に



「私と一輪車」

岡村ひかりさん
(平成10年卒業)

6年間通い、たくさんの歴史と思い出がつまった軽舞小が閉校になると聞き、寂しく残念な気持ちでいっぱいです。小学生の頃を思い返してみると、キャンプや学芸会といった行事が浮かんできます。なかでも1番心に残っている行事は運動会です。軽舞小といえば一輪車だと思います。全校生徒が乗れるのが自慢で、運動会で家族や地域の方に披露するために一生懸命練習したことを思い出します。母校が閉校になってしまうのは、とても悲しいですが「たくさんの思い出をありがとう」と言いたいです。



「運動会のバナナ」

青木 雅人さん
(昭和49年卒業)

軽舞小にとって最後の運動会。足を運んでみると地域の方々が、多数応援に来ていました。運動会の楽しみの一つお昼のお弁当。重箱びっしりのおいなりと巻きずしはご馳走でした。もう一つの楽しみは、今の飽食時代では考えられませんが、運動会でしか食べれないバナナを食べることでした。当時も徒競走がメイン。みんな新しい短パンとシャツ、真っ白な足袋を履いて一生懸命走った光景が懐かしく思い出されます。夏の風物詩が見れなくなると寂しい気持ちが込み上げてきます。